

第4回寒川地区学校再編計画地域協議会 会議録

日 時：平成20年1月11日（金）午後7時30分から午後9時20分

場 所：寒川農村環境改善センター

参加者：委員13名（欠席3名）

事務局：教育総務課長、学校教育課長、担当職員5名

傍聴人：なし

（会議内容）

- 1 会議の公開・非公開について
公開とする

2 議 題

（1）報告

- ①第3回寒川地区学校再編計画地域協議会結果の報告

（2）議事

- ① さぬき市学校再編計画地域連絡協議会結果について
- ② 小学校の適正配置について
- ③ 中学校の適正配置について

（質疑応答）

（委員）3月末で協議会を終えると聞いているが、連絡協議会も3月までか。

（事務局）連絡協議会については、12月、2月、3月に予定していたが、中学校の再編については、地域を超えた協議が必要との意見を受け、中学校の再編協議は、地域連絡協議会で話し合うこととなった。3月末までには方向性を出したい。

（委員）野間地区の高齢者の意見としては、統合となると通学距離が長くなる。安全面から考えれば現状維持を希望している。保護者の意見としては、将来的なことや財政的な面を考え再編に前向きな意見が多かった。

（委員）現在、児童がいない地区で、将来通学するようになった場合、バス計画はどうなるのか。

（事務局）今回提示したバス計画は、現時点での通学状況を基にしている。バス計画は毎年、見直さなければならないと考えている。

(委員) 中学校の再編計画(案)は4校であるが、中学校は広域的に考えてはどうか。将来的に考えれば2校でもいいのではないか。生徒が多ければクラブ活動の選択肢も広がる。また、財政面の負担も軽減できる。なお、校区を見直すことにより、通学の利便性を図って欲しい。

(委員) 2校は、生徒数的には十分と思うが、通学には負担が大きいのではないか。中学校の場合、全て自転車通学なのか。または、何らかの交通手段を考えているのか。

(事務局) 再編となれば校区の見直しや、遠距離通学者には、なんらかの通学支援は考えなければならない。例えば、スクールバスやコミュニティバスの利用がある。

(委員) 現在、多和地区の生徒はスクールバスを利用しているが、部活動に制限があった。部活動を中断して下校しなければならない。できればコミュニティバスなどである程度自由に下校ができるようにしてもらいたい。

(委員) さぬき市の地形的から考えて、中学校の2校は厳しいのではないか。中学校は部活動の関係から基本的には、自転車で通学ができる範囲が理想ではないか。また、大川・寒川・長尾地区は、険しい峠も少ないが、志度・津田地区は、峠を越えての通学になる。少なくとも3校は必要ではないか。

(委員) 通学時の安全対策について、市教委はどのように考えているのか。

(事務局) 地域の子どもは地域が守るという観点である。現在は、地域によっていばらつきはあるが、地域と学校が協議し、地域ボランティアを募り通学時の「見守り」をしている。

(委員) 保護者の意見では、あるクラスでは20名弱の内、男子が2名しかいない状況である。このような環境を聞くと早く統合してもらいたい。また、再編が決まり、再編の実施を要望した場合、早期に事業を進めてもらえるのか。

(事務局) 再編が決定した地域から一斉に事業を進めたいが、建設用地の問題や財政面などの諸条件を解決するための時間が必要である。今後、事業実施計画を策定したうえで具体的に進めている予定である。

(委員) 通学路の安全面を考え、道路整備は必要ではないか。

(事務局) 通学路の安全点検や不備などところの整備は必要と考える。

3 次回の日程について

日時：平成20年2月8日(金)

午後7時30分から